



2016年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2015年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 徹二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 本多 孝一

四半期報告書提出予定日 2015年11月11日 配当支払開始予定日 2015年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

TEL 03-5561-2616
2015年12月1日

(百万円未満四捨五入)

1. 2016年3月期第2四半期の連結業績(2015年4月1日～2015年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年3月期第2四半期	892,497	△5.3	99,021	△21.2	97,879	△20.8	65,096	△16.5
2015年3月期第2四半期	942,552	1.9	125,659	15.3	123,596	9.9	77,986	△1.0

(注) 四半期包括利益 2016年3月期第2四半期 41,569百万円 (△64.7%) 2015年3月期第2四半期 117,836百万円 (5.6%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2016年3月期第2四半期	69.07	68.98
2015年3月期第2四半期	81.81	81.71

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2016年3月期第2四半期	2,634,585	1,608,266	1,543,435	58.6	1,637.44
2015年3月期	2,798,407	1,598,500	1,528,966	54.6	1,622.48

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2015年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2016年3月期	—	29.00	—	—	—
2016年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2016年3月期の連結業績予想(2015年4月1日～2016年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,880,000	△5.0	221,000	△8.7	214,000	△9.4	138,000	△10.4	146.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2016年3月期2Q	971,967,660 株	2015年3月期	971,967,660 株
② 期末自己株式数	2016年3月期2Q	29,375,699 株	2015年3月期	29,602,836 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2016年3月期2Q	942,451,185 株	2015年3月期2Q	953,272,355 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）2016年3月期第2四半期（3カ月）の連結業績（2015年7月1日～2015年9月30日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3カ月）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年3月期第2四半期	446,394	△ 7.5	49,308	△ 20.7	46,942	△ 24.6	32,566	△ 19.2
2015年3月期第2四半期	482,331	2.6	62,181	10.0	62,249	2.3	40,303	△ 2.9

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2016年3月期第2四半期	34.55	34.51
2015年3月期第2四半期	42.28	42.22

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
（1）四半期連結貸借対照表	P. 6
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 11
（5）セグメント情報	P. 11
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、2016年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2016年3月期第2四半期（2015年4月1日から2015年9月30日まで）の連結売上高は8,924億円（前年同期比5.3%減）となりました。建設機械・車両部門では、北米において一般建設機械の需要を着実に取り込んだものの、鉱山機械の需要低迷に伴う販売減少や中国をはじめとする新興国の需要が大幅に減少し、売上げは前年同期を下回りました。産業機械他部門では、半導体業界の好調な設備稼働に支えられギガフォトン（株）の売上げが伸長したものの、全体として売上げは前年同期を下回りました。

利益につきましては、為替が円安に推移する中、建設・鉱山機械の需要変動に対応するため継続的に行っているグローバルでの構造改革を含む固定費の削減、および販売価格の改善に取り組んだものの、建設機械・車両部門の販売量減少による影響により、営業利益は990億円（前年同期比21.2%減）となりました。売上高営業利益率は前年同期を2.2ポイント下回る11.1%、税引前四半期純利益は978億円（前年同期比20.8%減）、当社株主に帰属する四半期純利益は650億円（前年同期比16.5%減）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 102.6円 1ユーロ = 139.3円 1元 = 16.5円	当第2四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 121.9円 1ユーロ = 134.6円 1元 = 19.5円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	942,552	892,497	△ 5.3
建設機械・車両	843,661	794,147	△ 5.9
産業機械他	102,412	100,784	△ 1.6
消去	△ 3,521	△ 2,434	-
セグメント利益	122,689	98,403	△ 19.8
建設機械・車両	116,752	92,402	△ 20.9
産業機械他	7,809	7,533	△ 3.5
消去又は全社	△ 1,872	△ 1,532	-
営業利益	125,659	99,021	△ 21.2
税引前四半期純利益	123,596	97,879	△ 20.8
当社株主に帰属する四半期純利益	77,986	65,096	△ 16.5

※本文に記載しています売上高および利益は、すべて2015年4月から9月までの6カ月間の累計です。また、セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門の売上高は7,941億円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は924億円（前年同期比20.9%減）となりました。

本年2月に日本で開始した建設現場の課題解決のためのソリューション事業「スマートコンストラクション」については、9月よりサービス運用を始めたクラウドプラットフォーム「KomConnect」と、ICT建機に新たに搭載した「ステレオカメラ」により、施工現場の全エリアを3次元データで掌握することを実現しました。あらゆるモノがICTでつながる建設現場の「IoT（Internet of Things）」の実現により、お客様の施工全体の安全と生産性向上に貢献し、国内におけるICT建機の導入現場数は1,000を超えました。

日本、北米、欧州で昨年より順次適用が始まっている新排出ガス規制に対応した商品については計26機種を開発し、販売拡大に努めました。

建設・鉱山機械の新車需要が落ち込む中でも、アフターマーケットの需要を着実に取り込んだ結果、部品の売上げは伸長しました。アフターマーケットの更なる体制強化を図るため、小山工場（栃木県）敷地内に本年7月に竣工した小山テクニカルセンタにおいて部品販生オペレーションセンタの機能を拡充しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A]	当第2四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	151,709	148,593	△ 3,116	△ 2.1
北米(※1)	135,740	173,598	37,858	27.9
中南米(※1)	129,218	109,055	△ 20,163	△ 15.6
米州	264,958	282,653	17,695	6.7
欧州	74,410	71,426	△ 2,984	△ 4.0
CIS	27,942	23,338	△ 4,604	△ 16.5
欧州・CIS	102,352	94,764	△ 7,588	△ 7.4
中国	62,383	34,654	△ 27,729	△ 44.4
アジア(※2)	103,957	99,788	△ 4,169	△ 4.0
オセアニア	72,595	56,968	△ 15,627	△ 21.5
アジア(※2)・オセアニア	176,552	156,756	△ 19,796	△ 11.2
中近東	30,588	31,322	734	2.4
アフリカ	54,348	44,108	△ 10,240	△ 18.8
中近東・アフリカ	84,936	75,430	△ 9,506	△ 11.2
合計	842,890	792,850	△ 50,040	△ 5.9

(※1) 当第1四半期連結累計期間より、メキシコ代理店の買収に伴い、「北米」に含まれていた一部のメキシコ向け売上高を「中南米」に変更しています。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の数値を当第2四半期連結累計期間の表示に合わせ組替えて表示しています。

(※2) 「アジア」は日本および中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

新排出ガス規制の強化を見据え拡大するミニ建機の需要を取り込んだものの、一般建設機械のレンタル業界向けの需要が一巡した影響を受け、売上げは前年同期を下回りました。

<米州>

北米では、鉱山向けやエネルギー向けの需要は引き続き低調に推移したものの、住宅建設および道路などのインフラ分野向けに需要が増加した結果、売上げは前年同期を上回りました。

中南米では、鉱山機械の需要が減少したことに加え、主にブラジルで一般建設機械の需要が低迷したため、売上げは前年同期を下回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、主要市場を中心に需要を着実に取り込んだものの、為替が前年同期に比べ円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

CISでは、鉱山向け部品の販売は増加したものの、為替が円高に推移したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<中国>

中国政府による金融緩和などの景気下支え策は低迷する需要に対する効果が見えず、売上げは前年同期を大きく下回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、インド、フィリピンなどで需要を取り込むことができたものの、最大市場であるインドネシアなどで需要が低迷したことから、売上げは前年同期を下回りました。

オセアニアでは、鉱山向け需要が依然低調に推移し、売上げは前年同期を下回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、主要市場であるトルコの需要が低調であるものの、オマーン、カタールなどの湾岸諸国などの需要が堅調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

アフリカでは、主要市場である南アフリカの鉱山向け需要が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、半導体業界の好調な設備稼働に支えられギガフォトン（株）の売上げが伸長したことに加え、鍛圧機械の販売が拡大したものの、全体として売上高は1,007億円（前年同期比1.6%減）となりました。セグメント利益は75億円（前年同期比3.5%減）となりました。

高い生産性とランニングコストの大幅な低減を実現した小型ACサーボプレスは本年6月に新機種を追加し、更なる販売拡大に努めました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第2四半期連結会計期間末は、主に受取手形及び売掛金の回収が進んだことにより、総資産は前期末に比べ1,638億円減の2兆6,345億円となりました。有利子負債残高は、グループ内資金の有効活用などにより、前期末に比べ952億円減の4,938億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ144億円増の1兆5,434億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ4.0ポイント増の58.6%となり、ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の0.32に対して、0.27となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（ネット負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

＜キャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益677億円に加え、受取手形及び売掛金の回収などにより、1,520億円の収入（前年同期比367億円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、665億円の支出（前年同期比174億円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入債務の返済などにより、1,237億円の支出（前年同期は826億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ378億円減少し、680億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本年4月27日に公表しました2016年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

該当事項はありません。

②①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2015年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2015年9月30日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（資産の部）				
流動資産				
現金及び現金同等物	105,905		68,079	
定期預金	1,407		1,617	
受取手形及び売掛金	620,076		571,535	
たな卸資産	622,876		608,409	
繰延税金及びその他の流動資産	171,171		150,430	
流動資産合計	1,521,435	54.4	1,400,070	53.1
長期売上債権	280,138	10.0	265,254	10.1
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	28,358		28,541	
投資有価証券	73,420		58,954	
その他	1,731		1,823	
投資合計	103,509	3.7	89,318	3.4
有形固定資産	743,919	26.6	734,700	27.9
営業権	36,266	1.3	37,374	1.4
その他の無形固定資産	58,715	2.1	57,245	2.2
繰延税金及びその他の資産	54,425	1.9	50,624	1.9
資産合計	2,798,407	100.0	2,634,585	100.0

区分	前連結会計年度末 (2015年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2015年9月30日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（負債の部）				
流動負債				
短期債務	191,937		98,858	
長期債務 －1年以内期限到来分	117,922		156,120	
支払手形及び買掛金	225,093		195,896	
未払法人税等	39,396		23,462	
繰延税金及びその他の流動負債	230,563		212,340	
流動負債合計	804,911	28.8	686,676	26.1
固定負債				
長期債務	279,270		238,869	
退職給付債務	55,396		56,145	
繰延税金及びその他の負債	60,330		44,629	
固定負債合計	394,996	14.1	339,643	12.9
負債合計	1,199,907	42.9	1,026,319	39.0
（純資産の部）				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,696		138,104	
利益剰余金				
利益準備金	40,980		44,018	
その他の剰余金	1,220,338		1,255,051	
その他の包括利益（△損失）累計額	113,018		89,954	
自己株式	△ 51,936		△ 51,562	
株主資本合計	1,528,966	54.6	1,543,435	58.6
非支配持分	69,534	2.5	64,831	2.4
純資産合計	1,598,500	57.1	1,608,266	61.0
負債及び純資産合計	2,798,407	100.0	2,634,585	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（第2四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年 9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 9月30日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	942,552	100.0	892,497	100.0
売上原価	659,069	69.9	625,421	70.1
販売費及び一般管理費	160,794	17.1	168,673	18.9
その他の営業収益（△費用）	2,970	0.3	618	0.1
営業利益	125,659	13.3	99,021	11.1
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	1,506	0.2	1,886	0.2
支払利息	△ 4,656	△ 0.5	△ 4,873	△ 0.5
その他（純額）	1,087	0.1	1,845	0.2
合計	△ 2,063	△ 0.2	△ 1,142	△ 0.1
税引前四半期純利益	123,596	13.1	97,879	11.0
法人税等	44,011	4.7	31,294	3.5
持分法投資損益調整前四半期純利益	79,585	8.4	66,585	7.5
持分法投資損益	1,868	0.2	1,197	0.1
四半期純利益	81,453	8.6	67,782	7.6
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	3,467	0.4	2,686	0.3
当社株主に帰属する四半期純利益	77,986	8.3	65,096	7.3
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	81.81 円		69.07 円	
希薄化後	81.71 円		68.98 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年 9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 9月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	81,453	67,782
その他の包括利益（△損失）—税控除後		
外貨換算調整勘定	39,397	△ 18,513
未実現有価証券評価損益	658	△ 8,977
年金債務調整勘定	△ 2,599	942
未実現デリバティブ評価損益	△ 1,073	335
合計	36,383	△ 26,213
四半期包括利益（△損失）	117,836	41,569
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	5,722	△ 70
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	112,114	41,639

（第2四半期連結会計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2014年 7月 1日 至 2014年 9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2015年 7月 1日 至 2015年 9月30日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	482,331	100.0	446,394	100.0
売上原価	337,116	69.9	312,944	70.1
販売費及び一般管理費	82,294	17.1	84,648	19.0
その他の営業収益（△費用）	△ 740	△ 0.2	506	0.1
営業利益	62,181	12.9	49,308	11.0
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	628	0.1	840	0.2
支払利息	△ 2,419	△ 0.5	△ 2,376	△ 0.5
その他（純額）	1,859	0.4	△ 830	△ 0.2
合計	68	0.0	△ 2,366	△ 0.5
税引前四半期純利益	62,249	12.9	46,942	10.5
法人税等	21,524	4.5	13,711	3.1
持分法投資損益調整前四半期純利益	40,725	8.4	33,231	7.4
持分法投資損益	1,181	0.2	800	0.2
四半期純利益	41,906	8.7	34,031	7.6
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	1,603	0.3	1,465	0.3
当社株主に帰属する四半期純利益	40,303	8.4	32,566	7.3
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	42.28 円		34.55 円	
希薄化後	42.22 円		34.51 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2014年 7月 1日 至 2014年 9月30日	当第2四半期連結会計期間 自 2015年 7月 1日 至 2015年 9月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	41,906	34,031
その他の包括利益（△損失）—税控除後		
外貨換算調整勘定	51,309	△ 45,596
未実現有価証券評価損益	△ 707	△ 7,898
年金債務調整勘定	346	701
未実現デリバティブ評価損益	△ 1,421	306
合計	49,527	△ 52,487
四半期包括利益（△損失）	91,433	△ 18,456
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	4,541	△ 2,589
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	86,892	△ 15,867

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第2四半期 連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年 9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 9月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	81,453	67,782
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	47,921	54,718
法人税等繰延分	1,890	△ 729
投資有価証券売却損益及び減損	△ 861	△ 3,723
有形固定資産売却損益	△ 3,785	△ 772
固定資産廃却損	1,697	982
未払退職金及び退職給付債務の増減	1,755	1,315
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	63,529	56,409
たな卸資産の増減	△ 6,649	6,815
支払手形及び買掛金の増減	7,868	△ 27,801
未払法人税等の増減	△ 12,056	△ 15,772
その他（純額）	6,011	12,780
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	188,773	152,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 93,957	△ 79,482
固定資産の売却	11,313	9,203
売却可能投資有価証券等の売却	1,705	5,106
売却可能投資有価証券等の購入	△ 2	△ 369
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△ 3,081	△ 796
貸付金の回収	113	102
貸付金の貸付	△ 2	-
定期預金の増減（純額）	△ 162	△ 338
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 84,073	△ 66,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	132,526	91,412
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 152,712	△ 106,405
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	△ 24,611	△ 75,203
キャピタルリース債務の減少	△ 3,187	△ 359
自己株式の売却及び取得（純額）	275	61
配当金支払	△ 27,659	△ 27,345
その他（純額）	△ 7,282	△ 5,928
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 82,650	△ 123,767
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 546	511
現金及び現金同等物純増減額	21,504	△ 37,826
現金及び現金同等物期首残高	90,872	105,905
現金及び現金同等物四半期末残高	112,376	68,079

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	842,890	99,662	942,552	—	942,552
(2) セグメント間の内部売上高	771	2,750	3,521	△ 3,521	—
計	843,661	102,412	946,073	△ 3,521	942,552
セグメント利益	116,752	7,809	124,561	△ 1,872	122,689

当第2四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	792,850	99,647	892,497	—	892,497
(2) セグメント間の内部売上高	1,297	1,137	2,434	△ 2,434	—
計	794,147	100,784	894,931	△ 2,434	892,497
セグメント利益	92,402	7,533	99,935	△ 1,532	98,403

前第2四半期連結会計期間（自 2014年7月1日 至 2014年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	424,733	57,598	482,331	—	482,331
(2) セグメント間の内部売上高	413	1,475	1,888	△ 1,888	—
計	425,146	59,073	484,219	△ 1,888	482,331
セグメント利益	58,800	4,656	63,456	△ 535	62,921

当第2四半期連結会計期間（自 2015年7月1日 至 2015年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	390,847	55,547	446,394	—	446,394
(2) セグメント間の内部売上高	600	505	1,105	△ 1,105	—
計	391,447	56,052	447,499	△ 1,105	446,394
セグメント利益	45,133	4,264	49,397	△ 595	48,802

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結累計期間	196,042	290,570	107,016	69,954	194,015	84,955	942,552
当第2四半期連結累計期間	186,643	306,937	101,314	48,815	173,080	75,708	892,497

前第2四半期連結会計期間（自 2014年7月1日 至 2014年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自 2015年7月1日 至 2015年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結会計期間	115,461	153,137	50,227	31,009	92,594	39,903	482,331
当第2四半期連結会計期間	100,919	152,102	48,218	24,438	86,285	34,432	446,394

※ 日本及び中国を除きます。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。